

2019年4月26日

関係各位

ノートルダム清心学園
清心中学校・清心女子高等学校
校長 三宅 聖子
(公印省略)

2019年度ノートルダム清心学園 清心中学校・清心女子高等学校
第12回SSH科学英語研究会のご案内

新緑の候、貴職におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、本校は科学英語の充実に向け、ツールとしての英語運用能力の育成に重点をおいた研究開発に取り組み、2009年度以来、11度にわたる科学英語研究会を開催してまいりました。今年度は、CLIL(内容言語統合型学習)の手法を用いた学習プロセスを公開する運びとなりました。また、本校の英語教育の実践紹介を通して、情報交換を行う「分科会」の場も用意いたしました。

つきましては、多数の皆様方にご参加いただき、本校の取り組みについてご指導、ご助言を賜りたく、ご案内申し上げます。

記

1. 実施日 2019年6月22日(土) 12:15~16:00
2. 会場 ノートルダム清心学園 清心中学校・清心女子高等学校 中学校棟
〒701-0195 岡山県倉敷市二子 1200 番地
3. 日程 12:15~12:45 受付
12:45~13:00 開会・SSH概要説明
13:10~14:00 公開授業「Frog: Image and Reality」
14:10~14:20 英語による生徒課題研究口頭発表
14:20~14:50 研究協議
15:00~16:00 分科会(授業実践に関する情報交換を行う場を設けました)
4. 申込み 添付した参加申込書に必要事項を記入し、FAXで送信して下さい。
または同内容を下記のメールにお送りいただいても構いません。
5. 連絡先 清心中学校・清心女子高等学校
Tel 086-462-1661
Fax 086-463-0223
E-mail hashioka@nd-seishin.ac.jp (担当 橋岡)

*「集まれ!理系女子」第11回女子生徒による科学研究発表交流会「全国大会」は、本年度は
10月27日(日)に早稲田大学西早稲田キャンパスで開催予定です。

《公開授業》

1. 公開授業 13 : 10 ~ 14 : 00 (担当 : プライアン・ティムス 生徒 : 生命科学コース1年生)

「Frog : Image and Reality」

学校設定科目「実践英語」の目標の1つは、考察した内容や意見を生徒同士が具体的に描写したり共有したりするなど、多様なアウトプット活動を通して英語運用能力を養うことである。高校1年のこの授業では情報を視覚化して描写したり、短い講義を聞いてまとめたりそれぞれの考察についてお互いの意見を共有したりするような活動を行っている。本時では、「カエルに対するイメージと実態の乖離」というテーマで、生徒が抱く「カエル」に対するイメージをどのようにして変化させるかについてディスカッションを行う。

2. 分科会 15 : 00 ~ 16 : 00

本校での取り組みの一例を紹介しながら、参加者がそれぞれの学校で実践していることをお互いに発表していただき、情報を共有するために計画しました。具体的な授業実践例に関する情報交換ということで、今回は「Making difficult science English easier (難解な科学英語を分かり易い英語で理解させ、発表させるための工夫)」というテーマのもと以下の3つの分科会を準備しました。気軽にご参加いただければ幸いです。

I : 「Utilizing Simple Wikipedia for reading and writing」

(生徒の読解力と表現力を育成するための「シンプル・ウィキペディア」活用方法)

【内容】

易しい英語を用いて書かれている「シンプル・ウィキペディア」を授業のなかに取り入れて、情報収集のためのひとつの手段として活用する可能性について情報交換を行う。科学英語を生徒に理解させるためには、生徒の英語力に応じた教材が必要となる。適切な書籍の活用はもちろんであるが、インターネット上にある平易な言葉で書かれた英文を活用することも考えられる。「ウィキペディア」と「シンプル・ウィキペディア」の内容を比較したり、また、それらの情報の信頼性についても十分言及しながら活用方法を議論したい。

II : 「Biodiversity made easy (species richness and species diversity)」

(「生物多様性」についての内容を、英語で分かり易く教えるための工夫)

【内容】

生物多様性という抽象的な概念を、英語を用いてどのように指導すればよいか。このことについて、本校の中学校では、教材として準備した標本や写真・図などを、生物多様性の度合いを測定する数式を活用して、特定の基準に基づいてそれらを分類し、生物多様性についての理解を深める取り組みをしている。科学的な内容の英語(教材)を数学的な観点も取り入れながら、いかに分かり易く説明することで生徒の学習活動を活性化させることができるか、参加者とともに議論を深めたい。

III : 「Applying Integrated skills」 (using speaking/reading and writing to deal with difficult material)

(統合スキルへ応用するための工夫)

【内容】

英語の授業では、言語の4技能(リーディング、ライティング、スピーキング、リスニング)をうまく統合して活用させるための工夫が求められている。さらに、英語を教えるという側面だけではなく、教材としての内容も重視した「内容言語統合型学習(CLIL)」という指導方法も普及しつつある。ここでは、一般的な科学的内容の教材を授業内でどのように扱うことで4技能を統合した授業を展開することができるかを参加者と共に議論したい。

* 各分科会終了後、そのまま解散になります。

[別紙様式]

ノートルダム清心学園 清心中学校・清心女子高等学校

第12回 SSH 科学英語研究会参加申込書

学 校 (所 属)	学校名 : (所属名)
	TEL :
	FAX :

職 名	参 加 者 名	教 科	ワークショップ	
	代表者 E-mail ()		参加 (いずれかに○) I II III	不参加
			参加 (いずれかに○) I II III	不参加
			参加 (いずれかに○) I II III	不参加
			参加 (いずれかに○) I II III	不参加

6月18日(火)までに Fax または E-mail でお申し込み下さい。

Fax : 086-463-0223

E-mail : hashioka@nd-seishin.ac.jp

《本校へのアクセス》

- ・ 倉敷インターチェンジから岡山方面に10~15分(校内に駐車スペースがございます)
- ・ JR中庄駅からバスで10分(清心学園口で下車)+徒歩5分 【中庄駅発11:40/12:10】
- ・ JR中庄駅からタクシーで10分(乗車の際は“中学校玄関まで”とお伝え下さい)

